

ハピネス



学校教育目標: 未来をになう人間性豊かでたくましい児童の育成

学校経営方針: 一人ひとりが輝く 子どもが主役の笑顔あふれる学校

5年生に1人転入

山鹿市立三玉小学校

児童数: 156人

文責: 校長 北山 紗

令和8年1月8日(第16号)

明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひいたします

2026年がスタートしました。大きなけがや事故もなく、元気に子どもたちと始業式を迎えることができ、大変嬉しく思っています。今年度5人目の転入生を迎え、3学期をスタートしました。温かく優しい三玉っこに囲まれ、1日も早く馴染んでくれることを願っています。

156名の子どもたち一人ひとりが輝く3学期にしていきます。ご理解とご協力を今年もよろしくお願ひいたします。

いよいよ次の学年の準備をする3学期になりました。始業式では、子どもたちに以下のような話をしました。

3学期は、「0学期」!

つぎのがくねんになる
じゅんびをする時間
高学年: 次への助走の時間

2学期に・・・「3力」みりょく

感謝 100回

気づき力・判断力・がむしゃら力

3学期は短い。だから、濃く!

ありがとうを、 行動に!

一人一人の成長が、学校の力
気づき力・判断力・がむしゃら力

3学期は、1年でいちばん短い学期です。50日しかありません。でも、いちばん大切な学期もあります。なぜなら、3学期は「まとめ」であり、同時に「次の学年への準備の学期」だからです。2学期、校長先生はみなさん、「感謝 100回」という話をしました。「ありがとう」を、たくさん見つけてほしい。そんな思いで伝えました。3学期は、その続きです。今年の3学期の合言葉は「ありがとうを、行動に。」です。ありがとうと思ったら、言葉だけで終わらせない。あいさつをする。最後までやりきる。困っている人に声をかける。自分の役割を、しっかりと果たす。特別なことはいりません。小さな行動でいいのです。この1年、みんなの成長をたくさん見てきました。友だちの話をしっかりと聞く姿。苦手なことにも挑戦するようになった姿。友だちとうまいかなかつた時に「ごめんね」「ありがとう」を言う姿。どの成長も、行動から生まれていました。3学期は、「わかっている」を「やっている」に変える学期です。今の自分の行動が、次の学年の自分をつくります。校長先生から、ひとつだけお願いがあります。3学期の終わりに、「自分、ちょっと成長したな」と自分で自分を認められる行動を、1つでいいから残してください。「ありがとうを、行動に。」一日一日を大切に、仕上げの3学期を、みんなでつくっていきましょう。という内容です。その後、各学級で担任の先生からその学年なりの目標や3学期を充実させるためのお話をされました。子どもたちはしっかりと受け止めてくれ、さらに頑張ろうという気持ちを高めてくれています。

3学期も、児童会テーマである「チャレンジ 協力 元気なあいさつ三玉っこ」で、みんなでいっしょにがんばっていきます。



冬休み ~教育環境の整備~ よりよく・過ごしやすく・安全強化



ハピネス15号に掲載しました外壁工事の進捗です。↓ 今年度内に終わるよう日々と進めていただいております。寒い日々ですが、子どもたちの教育活動に影響が出ないように考えていただいていること、ありがとうございます。

交通公園だった跡があります。自転車道だった!?形跡があり、運動場の入り口に段差がありました。関係各所にお願いに伺いました。年内に整備を終えることができました。ご心配をおかけしました。



謹賀新年

保護者の皆さん、地域の皆さんにたくさんお力添えをいただきました2025年でした。昨年末に、本当に立派な門松を松山茂行さまが作ってきてくれたり、学校運営協議会の脇山会長と設置をしてくださいました。お陰様でよい2026年の幕開けです。ありがとうございました。



校長より

2026年もよろしくお願ひいたします。子どもたちに誰よりも近い校長になれるよう精一杯頑張ります。お気軽に学校にお立ち寄りいただき、保護者の皆さんや地域の皆さんとお話できたらありがたいです。